

消防操法大会 県大会で奮闘！ 丹波市代表チームが3位入賞

7月22日、県立広域防災センターで開催された第27回兵庫県消防操法大会ポンプ車の部で、市代表の春日支団第1分団第2部が、過去最高の3位に見事に入賞しました。

指揮者の婦木健一郎さんは、「現副団長の悔し涙から8年、部の努力が結実して嬉しい。家族や野村地域の方々をはじめ、支えてくださった皆様に心から感謝しています」と話しました。



見事3位に入賞した春日支団第1分団第2部の演技

移住に関わる「つながり」づくりの場 たんば“移充”計画を実施

7月18日、「農家民宿おかだ」で、移住した人や移住を考えている人、移住を応援したい地元の人などが集まって、たんば“移充”計画という交流会を実施しました。

当日は市内外から9人が参加し、カレーづくりなどを通して、市での生活について話し合いました。唯一の男性参加者で、神戸市から訪れた木村俊文さんは、「丹波市は女の人が元気な印象。移住も検討したい」と話しました。



カレーを食べながら交流する参加者

ライフル射撃で 全国大会出場を報告



全国大会での健闘を誓った中垣さん

8月2日、氷上西高校2年の^{りょうた}中垣諒太さんは、全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会出場を報告するため、市役所を訪れました。

中垣さんは「ビームライフル立射60発競技は、ちょっとした心の乱れが結果に現れてしまう。先輩方のこれまでの成績を上回る50位以内を目指し、練習通りに力を発揮することを目標に頑張りたい」と話しました。

丹波で熱戦！ 女子プロ野球開催 京都 VS 愛知



熱戦を繰り広げる女子プロ野球選手たち

7月27日・28日の2日間、春日スタジアムで女子プロ野球の京都フローラと愛知ディオーネの試合が行われました。試合には、全国女子硬式野球大会の参加校も数校観戦に訪れ、プロの高い技術に歓声を上げていました。

屋台の出店などで会場を盛り上げた大路地区自治協議会会長 山本俊平さんは、「今後、女子プロ野球と女子高野球どちらも盛り上がれば嬉しい」と話しました。

女子高校野球の聖地・丹波市 全国大会を開催！

7月27日～8月3日まで、第22回全国高等学校女子硬式野球選手権大会がスポーツピアいちじまと春日スタジアムで開催されました。今大会には、北海道から鹿児島県まで過去最多の28チームが丹波市に集い、厳しい暑さの中、1点を争う激しい戦いが繰り広げられました。

平成12年に第1回全国高等学校女子硬式野球選抜大会を開催してから18年。大会関係者や地元協力者などの努力により、「丹波市は女子高校野球の聖地」と言われるようになりました。

3日に行われた決勝戦は、京都両洋高等学校（京都府）が横浜隼人高等学校（神奈川県）を5－0で破り、創部7年目で初優勝を果たしました。

優勝した京都両洋高校主将の平井菜生さんは、「決勝では先制点をとれたことで、落ち着いて実力を発揮することができた。」と話しました。

【大会結果】

優勝：京都両洋高等学校（京都府）

準優勝：横浜隼人高等学校（神奈川県）

ネコの世界を満喫 岩合光昭の世界ネコ歩き展が開幕

7月14日、植野記念美術館で「岩合光昭の世界ネコ歩き展」の開幕記念くす玉割り・記念映画会が行われました。本展は、現在NHKのBSプレミアムで放映中の「世界ネコ歩き」をテーマに、岩合さんの作品を通してネコの魅力に迫ります。

記念映画会で、来館者は「ネコの可愛らしく、たくましく生きる姿にほのぼのした気持ちになりました。」とネコの世界を楽しみました。



開幕のくす玉割りをする子どもたち



決勝で力投する横浜隼人高校の投手



ホームを狙う走者と返球を待つ捕手

丹（まごころ）の里・丹波市 味覚フェア たんばルシェ開催



ミニトマトすくいに挑戦する子どもたち

7月28日、柏原市街地で、マルシェ（市場）とバル（飲食店）のエッセンスをとり入れた、旬の食材と料理に出会える「たんばルシェ2018」が開催されました。

旬の夏野菜の直売のほか、子どもたちに大人気のミニトマトすくいの企画もあり、多くの家族連れで賑わいました。今年は秋に2回、冬に1回開催予定です。ぜひお越しください。